

# 工事施工状況報告書

(建築基準法第12条第5項、大和市建築基準法施行細則第19条)

(第一面)

年 月 日

建築主事 あて

下記に関わる工事の施工結果について次のとおり報告します。

なお、確認申請図書と照合した結果、  
変更は有りません。  
変更が有るので、別添のとおり報告します。

報告者	工事監理者	住所 資格 ( ) 級建築士 ( ) 登録 ( ) 号 事務所名 ( ) 級建築士事務所 ( ) 登録 ( ) 号 氏名 ⑩
建築主	住 所 氏 名	
工事概要	工事名称 確認済証 年 月 日交付 第 号 建築場所 大和市 構 造 <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> RC <input type="checkbox"/> SRC <input type="checkbox"/> WRC <input type="checkbox"/> その他 ( ) (木造一部RC造などの場合に記入して下さい。) 階 数 地上 階 地下 階 高 さ m 軒の高さ m 延べ面積 m <sup>2</sup>	

(注意事項)

1. 中間検査又は完了検査申請時に提出して下さい。尚、確認申請図書と照合した結果、変更が有る場合は当該検査申請以前に報告して下さい。
2. 第一面から第四面の該当する部分の記入及び□にチェックをして下さい。
3. 下記に示す工事写真等を添付して下さい。
  - ・支持層の確認状況、基礎形状、配筋状況、アンカーボルトの設置状況等の他、構造耐力上主要な部分のうち、工事施工後目視で確認できない部分の工事写真。
  - ・建築主事が必要と認めるもの ( )

(第二面)

工事種別		施工結果					
1 基礎工事  令 38 建 1347 国 1113	<input type="checkbox"/> 直接基礎	・現場における地盤の許容応力度 ( ) KN/m <sup>2</sup> ・地盤の許容応力度の確認方法 ( ) ・セメント系固化材を用いた地盤改良を行った場合の強度の確認 改良体の設計基準強度 ( ) KN/m <sup>2</sup> コア供試体の材齢が 28 日における圧縮強度の数値 ( ) KN/m <sup>2</sup>					
	<input type="checkbox"/> くい基礎	・支持層の確認方法 ( ) ・支持層の位置 設計GL - ( ) m ・くい長 ( ) m ・くい種 ( ) ・工法 ( ) ・くいの偏心位置 (芯ずれ) の最大寸法 ( ) mm					
		鉄骨総重量 ( ) t					
構造耐力上主要な部分の鋼材の種類		部位	鋼材の種類	部位	鋼材の種類		
		柱 間柱 大梁 小梁		ブレース ダイアフラム アンカーボルト			
2 鉄骨工事 令 3 章 5 節  <input type="checkbox"/> 該当無		溶接部の 検査方法	製作場所	抜き取り率 (%) ( ) は合格率を記入			
				工事監理者	第三者機関	社 内	
		外観検査	工場	( )	( )	( )	
			現場	( )	( )	( )	
		超音波探 傷検査	工場	( )	( )	( )	
			現場	( )	( )	( )	
		アンダーカット、 割れ、 ダイアフラムとフランジのずれ、 突合せ継ぎ手の食違い等、 指摘事項の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			指摘事項及び処理内容		
		溶接検査機関の 名称、住所		工場			
現場							
鉄骨加工工場		名称、住所					
		大臣認定	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	グレード			
検査項目		検査日		内 容			
		施工者	監理者				
工作図確認 現寸検査		施工図の確認、現寸検査を行った。					
		剛接合部について応力伝達上支障ないことを確認した。					
材料検査 溶接仕口部 仮付組立検査		溶接部、溶接姿勢、電流、溶接技能者資格を確認した。					
		使用鋼材の材料検査を行った。 <input type="checkbox"/> ミルシート <input type="checkbox"/> 試験					
		突合せ溶接の開先角度を検査した。					
		同上のルート面状態、ルート間隔を検査した。					
		スカーラップ r= mmを確認した。					
		エンドタブの取り付けを確認した。					
		裏あて金の取り付け状態又は裏はつり状態を確認した。					

## (第三面)

確認項目	施工結果				
	検査項目	検査日		内 容	
		施工者	監理者		
2 鉄骨工事 令3章5節	材料検査 溶接仕口部 仮付組立検査			突合せ継手の食い違い、仕口部の板ずれを検査した。	
				すみ肉溶接のはだすきを検査した。	
				仕口内部の内ダイアフラムの取り付けと開先の検査をした。	
				ボルト等の縁端距離、相互間の中心距離の確認をした。	
				ボルト孔の径とボルト径の確認をした。	
				入熱温度、パス間温度の管理状況を確認した。	
				柱、梁等の部材寸法等を確認した。	
				すみ肉溶接の脚長寸法を検査した。	
				裏はつりの施工を確認した。	
				スラグ、スパッタの除去を確認した。	
				鉛直ブレースの溶接長、ボルトのはしあき、へりあきを確認した。	
			水平ブレースの溶接長、ボルトのはしあき、へりあきを確認した。		
		ボルト締付 建て方検査			高力ボルトの種類を確認した。 <input type="checkbox"/> JIS <input type="checkbox"/> トルシア
					高力ボルトの材料強度を確認した。 <input type="checkbox"/> ミルシート <input type="checkbox"/> その他
					ボルトの本数、径、添板、の板厚等を確認した。
					高力ボルトの摩擦面処理を確認した。方法：( )
					1次締め後マーキングを行った。
					2次締め後ナット回転量及び共回り、軸回りが無いこと、ボルトの余長を確認した。
					トルシア型の場合、ピンテールの破断を確認した。
					高力ボルトのトルク値を確認した。方法：( )
					建て入れ制度の確認をした。
		柱脚			アンカーボルトの径、長さ、材質、配置の検査を行った。
					グラウトモルタルの充填を確認した。
					露出型固定柱脚については、メーカーのチェックシートにより確認した。
		デッキプレート			スタッドボルトの打撃曲げ試験を行った。
					焼き抜き栓溶接の径、間隔、欠陥が無いことを確認した。
					メーカーのチェックシートにより確認した。
		その他の検査			防火被覆の仕様、厚みを確認した。
		不具合の処置			
		添付書類の確認	<input type="checkbox"/> ミルシート <input type="checkbox"/> 非破壊検査報告書 <input type="checkbox"/> 露出型柱脚施工管理報告書 <input type="checkbox"/> 溶接技能者資格証明書 <input type="checkbox"/> 高力ボルトの現場軸力導入試験報告書 <input type="checkbox"/> 工事写真		

